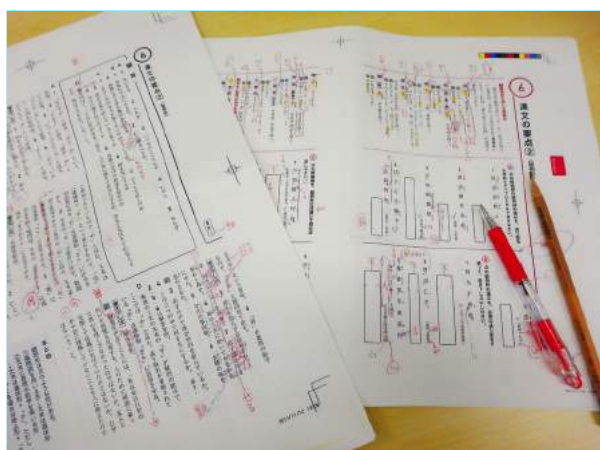




本作りでよく聞く「ゲラ」ってなに？

教科書や学習参考書の製作過程では、一般書以上に念入りな校正を行います。「初校でゲラが真っ赤になってしまう」こともあり、複数回の校正を重ねることも少なくありません。

さて、この「ゲラ」という言葉。——かつて、活版印刷では金属製の活字を木製の四角いお盆に並べて文字を組んでいました。そのお盆のことを英語で galley (ガレー) といい、それが訛って「ゲラ」と呼ぶようになりました。印刷する前にお盆に入った状態の版面にインクを塗り、紙を当てて試し刷りをしたため、この試し刷り（校正刷り・校正紙）を「ゲラ刷り」、略して「ゲラ」と呼びます。今では活字による組



版は廃れ、パソコンで印刷データを作るようになりましたが、校正紙を「ゲラ」と呼ぶ習慣は残っています。

以前は活字を手作業で組んだり、原稿が手書きだったりしたため、「校正」といえば原稿とゲラを照合して誤りを見つけるのが主な作業でした。データ入稿となった現在では、原稿とゲラの文字は一致するため、原稿を離れた「素読み」での校正に重点が置かれます。原稿作成時の漢字変換ミスはないか、字体は正しいか、表記は統一されているか、などを確認する作業です。加えて、客観的誤記がないか調べたり、内容に踏み込んだ指摘や提言を行ったりします。問題集の場合は、問題と答えが合っているかを確認することも重要なポイントです。

原稿が本の完成形に近づいていくゲラは、編集に携わる者にとって嬉しいものですが、反面、どこにどんな間違いが潜んでいるかわからない、怖~いものでもあるのです。

カタカナ語にご用心！①



ナイーブな新入生 = a naive newcomer ?

新年度、部活動も新入生が入って活気づく季節です。気配りのできるキャプテンがメンバーにひとこと、「あの新入生はナイーブそうだから、優しくしてやってな」。よく見かけそうな光景です。これを英語にするとどうなるでしょうか。

That newcomer seems naive, so be kind to him. としてしまいがちなところですが、これでは意図は伝わりません。英語の naive は「世間知らずの」という意味です。この場合は That newcomer seems **sensitive**, so be kind to him. と、sensitive 「傷つきやすい」を使うのがよいでしょう。ちなみに「気配りのできるキャプテン」もこの sensitive を使って、a sensitive captain と表現することができます。「傷つきやすい」ことも「気が利く」ことも、同じ単語で表されるのは興味深いですね。



高等学校基礎学力テスト（仮称）の問題作成イメージの例が 文部科学省より発表されました

文部科学省の3月11日高大接続システム改革会議（第13回）会議資料として、「高等学校基礎学力テスト（仮称）」の問題作成イメージの例（英語・国語・数学）と、3月31日に高大接続システム改革会議の「最終報告」が発表されました。「具体的な問題と問題作成のイメージを結びつけて整理した」とあるように、各教科の具体的な設問例が掲載されていました。

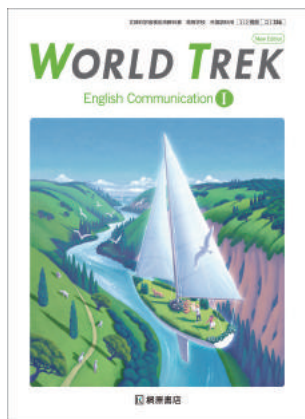
平成29年度用教科書のご案内 を開始しました！

English Communication I

PRO-VISION WORLD TREK

国語総合

新探求国語総合



www.kirihara.co.jp

詳しくは桐原書店ホームページをご覧ください。

 桐原書店

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-15-3 住友不動産西新宿ビル 3号館
TEL : 03-5302-7010 FAX : 03-5302-7031